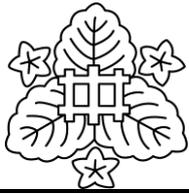


2016



# 石神井中だより

平成 28 年 3 月 24 日 発行 3 月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に  
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakujii-j.nerima-kyo.ed.jp/>

## 新年度に向けて

校長 田中 隆史

先日の卒業式は、生徒の皆さんの協力で卒業生の門出の祝う素晴らしい式にすることができました。皆さんが歌った校歌や式歌は、卒業生を後押しする素晴らしい歌声でした。また、話を聴く姿勢や礼法も立派でした。

この1年間を振り返ってみると、どの学年も成長の跡がたくさん見られました。1年生は、「2年生を支えていかなければ」という意気込みをもって、各行事に参加していました。また、2年生も夏休み以降、すべての面で3年生に替わり、「本校をリードしようとする姿勢」が見られました。

しかし、課題がないわけではありません。「砂上の楼閣」という言葉がありますが、見かけは立派であっても、中身の基礎がしっかりしていないために、目標が達成できないようでは困ります。



このようなことが、学習面において言えなかったかどうか考えてみてください。将来の夢や希望を実現させるためには、どんな試練や障害があろうとも、それらを乗り越えられるだけの「真の実力」が必要です。中学校で身に付けるべき基本的な学習内容を授業でしっかりと理解し、自分のものにしていかなければ、基礎学力は「砂上の楼閣」と等しいものになってしまいます。今年度の卒業生にも自分の進路先を決めていく中で、「基礎学力をしっかりと身に付けること」の大切さを痛感した者もいたのではないかと思います。

魯迅という文学者は、「自分に満足する人は、永遠に進歩しない」という内容のことを言っています。皆さんには、この一年間の自分の取り組みを振り返り、現状に満足することなく、学習や学校生活に対する自分の課題をしっかりと受け止めた上で、新年度を迎えてください。

先日の卒業式の「卒業生による門出の言葉」の中に、次のような言葉がありました。

石神井中が、このように笑顔と挨拶の溢れる素晴らしい学校であるのは、今までのみなさんが一生懸命、ひたむきに「学校のために動く」ということをしてきたからなのではないでしょうか。

来年度、2年生は最高学年として、1年生は中堅学年として、各活動や行事に取り組むこととなります。皆さんには、本校のため一生懸命に、ひたむきに活動しなければという「自覚」と「責任感」をもって、よき伝統を受け継いでいって欲しいと思います。

この1年間、保護者や地域の皆様には様々な場面でたくさんのご支援をいただき、本当にありがとうございました。平成28年度も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。